

子供・若者健全育成の基本的な考え方（案）

1 基本理念

～夢と志を持ち、他者と協働しながら、健やかに成長し、

やまなしの未来を切り拓く「子供・若者」を育むために～

今、わが国では、人口の減少、少子高齢化の進行、グローバル化や情報化の進展、地域コミュニティの希薄化など、子供・若者を取り巻く情勢は大きく変化し、多くの課題が生じています。

また、ニート（若年無業者）やひきこもり、貧困や児童虐待など、困難を有する子供・若者の問題も深刻な状況にあります。

全ての子供・若者が、次代を担う者としての自覚と誇りを持ち、夢と志を抱きながら、心身共に健やかに成長できるよう見守り、支援していくことは、大人の役割と責任でもあります。そのためには、一人ひとりが持つ能力や可能性、困難の程度や状況に応じて、県民総ぐるみで子供・若者への切れ目のない継続的な支援を行っていくことが必要です。

県、市町村などが適切な役割分担を行い、緊密に連携・協力しながら、家庭、学校、地域社会、企業、団体が一体となって、子供・若者の育成支援を行う持続可能な地域社会づくりに取り組むことが、今こそ必要です。

これらのことをふまえ、子供・若者が、ふるさと「やまなし」に誇りと愛着を持ち、世界に目を向け、夢と志を抱き、心身ともにたくましく健やかに成長していくこと、そして、様々な困難をも乗り越えながら自立する力を身につけ、他者と協働しながらやまなしの未来を切り拓いていく人材として活躍していくことを深く願い、基本理念を「夢と志を持ち、他者と協働しながら、健やかに成長し、やまなしの未来を切り拓く子供・若者を育むために」とし、上記の基本理念を踏まえ、施策の基本的な柱として次の5つの「基本目標」を掲げ、県民総ぐるみで子供・若者の育成支援に取り組む必要があります。

2 基本目標

(1) 全ての子供・若者のたくましく健やかな成長に向けた支援

子供・若者が健やかに成長していくためには、基礎的・基本的な知識や技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等の「確かな学力」を身につけるとともに、命を大切にできる心や思いやる心、規範意識・倫理観などの「豊かな心」を育み、そして、生活や仕事をする上で基盤となる「健やかな体」を養成するなど、子供・若者の「知・徳・体」がバランスよく育まれるよう、家庭・学校・地域が連携して取り組むことが必要です。

また、これらと併せて、社会環境の変化や進展に対応する力や職業観・勤労観の確立など、社会的・職業的自立に向けた能力を育むことが必要です。

このような観点から、「子供・若者のたくましく健やかな成長に向けた支援」に取り組むものです。

具体的には、以下のような事柄について、重点的な取組が必要です。

- ・ 基礎的能力である「知・徳・体」の育成
- ・ 社会的・職業的自立に必要な能力の育成

(備考) この重点的な取組は、以下の各課題の解決に資するものです。

※子供・若者をめぐる現状と課題

- 1は「社会環境と子供・若者」、2は「困難を有する子供・若者」、
- 3は「家庭・地域と子供・若者」

1－(6) 学校と子供・若者

- ①学校と学習 ②体力・運動能力及び運動習慣の状況
- ③学校教育に対する意識 *以下①・②・③で表記

1－(7) 子供・若者の社会参加活動

1－(8) 若者の就労状況と意識

2－(1) ニート(若年無業者)

2－(2) ひきこもりの子供・若者

(2) 困難を有する子供・若者やその家族へのきめ細かな支援

ニート、ひきこもり、不登校、発達障害等の精神障害、児童虐待、貧困など、子供・若者やその家族が抱える問題に対してきめ細かな支援を行うためには、教育、福祉、保健、医療、矯正、更生保護、雇用などの関係機関が連携し、それぞれの専門性を活かして、個々の発達段階に応じた、切れ目のない継続的な支援を行っていくことが必要です。

また、子供・若者がこのような困難を抱えるに至った要因や、目指すゴールの違いなどを、関係機関が相互に十分理解した上で支援することも重要です。

このような観点から、「困難を有する子供・若者やその家族へのきめ細かな支援」に取り組むものです。

具体的には、以下のような事柄について、重点的な取組が必要です。

- ・ ニート等に対する支援の充実
- ・ ひきこもりの子供・若者への支援の充実
- ・ いじめ、不登校、高校中途退学等への対応の充実
- ・ 障害のある子供・若者への支援の充実
- ・ 非行・犯罪防止対策と立ち直り支援の充実
- ・ 外国人等、特に配慮が必要な子供・若者への支援の充実
- ・ 貧困等、困難を有する子供・若者やその家族を総合的に支援

(備考) この重点的な取組は、以下の各課題の解決に資するものです。

※子供・若者をめぐる現状と課題

1は「社会環境と子供・若者」、2は「困難を有する子供・若者」、
3は「家庭・地域と子供・若者」

- 1－(6) 学校と子供・若者 ①・②・③
- 1－(8) 若者の就労状況と意識
- 2－(1) ニート(若年無業者)
- 2－(2) ひきこもりの子供・若者
- 2－(3) いじめ、不登校、暴力行為、高校中途退学の状況
- 2－(4) 障害のある子供・若者
- 2－(5) 少年非行の状況
- 2－(6) 子供の貧困の状況
- 2－(7) 外国人児童生徒
- 2－(8) 子供・若者の自殺の状況
- 2－(9) 児童虐待の状況
- 2－(10) 困難を有する子供・若者に関する相談窓口
- 3－(1) 家庭における教育力
- 3－(2) 地域における教育力
- 3－(3) 地域における安全・安心

(3) 子供・若者の成長を社会全体で支える環境づくり

子供・若者の健やかな成長を支えていくためには、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を果たしながら、地域内でネットワークを構築・強化することにより、育成支援を推進する基盤となる地域社会づくりに取り組んでいくことが大切です。

このような観点から、「子供・若者の成長を社会全体で支える環境づくり」に取り組むものです。

具体的には、以下のような事柄について、重点的な取組が必要です。

- ・ 家庭・学校・地域の相互連携による教育力の向上
- ・ 子供・若者を取り巻く社会環境の健全化の推進
- ・ インターネットの適切な利用に関する取組の推進

(備考) この重点的な取組は、以下の各課題の解決に資するものです。

※子供・若者をめぐる現状と課題

- 1は「社会環境と子供・若者」、2は「困難を有する子供・若者」、
3は「家庭・地域と子供・若者」

- 1－ (1) 子供・若者人口の減少
- 1－ (2) 少子化・核家族化の進行
- 1－ (3) 情報化社会の進展
- 1－ (5) 持続可能な社会の実現
- 2－ (5) 少年非行の状況
- 3－ (1) 家庭における教育力
- 3－ (2) 地域における教育力
- 3－ (3) 地域における安全・安心

(4) 子供・若者の成長を支える担い手の養成

地域社会は、家庭や学校とは異なる人間関係や様々な体験の提供を通じて、子供・若者の健やかな成長に重要な役割を果たしていますが、地域におけるつながりの希薄化が懸念されているなか、地域における見守りや健全育成の機能を発揮させるために、地域住民やNPO等が子供・若者育成支援を支える担い手として活躍する共助の取り組みを促進する必要があります。

このような観点から、「子供・若者の成長を支える担い手の養成」に取り組むものです。

具体的には、以下のような事柄について、重点的な取組が必要です。

- ・ 子供・若者の成長を支える担い手の養成

(備考) この重点的な取組は、以下の各課題の解決に資するものです。

※子供・若者をめぐる現状と課題

- 1は「社会環境と子供・若者」、2は「困難を有する子供・若者」、
3は「家庭・地域と子供・若者」

- 1－ (5) 持続可能な社会の実現
- 1－ (7) 子供・若者の社会参加活動
- 3－ (1) 家庭の教育力
- 3－ (2) 地域における教育力
- 3－ (3) 地域における安全・安心

(5) やまなしの未来を切り拓く子供・若者の応援

少子高齢化の進行、グローバル化や情報化が進展するなか、持続的な地域社会を創りあげていくためには、国際感覚豊かな（グローバルな）視野や知識を持ちながら、地域社会（ローカル）で必要な知・徳・体を持った「グローカル」な力を育成していく必要があります。

グローバル化が進行する社会においては、チャレンジ精神や豊かな語学力、コミュニケーション能力等を培う教育が重要です。また、やまなしの未来を切り拓いていく人材となるためには、ふるさと「やまなし」のよさを理解し、愛着と誇りを持つよう、自然体験学習や郷土学習、子供時代から社会へ参加・参画していく機会や場が保証されることが必要です。

また、情報通信技術の急速な進歩による第4次産業革命という大きな変革に対応していくためには、科学技術に精通した人材や情報通信技術の進化に適応し活用できる人材、地域産業を担う若者などを育成することも必要です。

このような観点から、「やまなしの未来を切り拓く子供・若者の応援」に取り組むものです。

具体的には、以下のような事柄について、重点的な取組が必要です。

- ・ ふるさと山梨のよさを理解し、愛着と誇りを持ち、未来を切り拓く子供・若者の育成

(備考) この重点的な取組は、以下の各課題の解決に資するものです。

※子供・若者をめぐる現状と課題

1は「社会環境と子供・若者」、2は「困難を有する子供・若者」、
3は「家庭・地域と子供・若者」

- 1－(1) 子供・若者人口の減少
- 1－(3) 情報化社会の進展
- 1－(4) グローバル化の進展
- 1－(5) 持続可能な社会の実現
- 1－(6) 学校と子供・若者 ①・②・③
- 1－(7) 子供・若者の社会参加活動
- 1－(8) 若者の就労状況と意識
- 3－(2) 地域における教育力
- 3－(3) 地域における安全・安心